



備長炭で水を浄化しませんか？

村井 俊治

日本は資源がない国と言われます。でも水資源は豊富です。日本は、水道の水をそのまま飲める数少ない国です。ところが 10 年ほど前から若者を中心にミネラルウォーターまたは飲料用ペットボトルがはやってきました。テレビの宣伝に犯されたのでしょうか？フランスやドイツでは、水は買わなくてはなりません。フランス人は水代わりにワインを飲みます。ドイツでは水の方がビールより高いです。日本は法律で水道の水質基準が定められ、飲料できます。確かに夏の水道水は多少臭くなる時があります。私の住む八王子市の水道は地下水でほとんど問題はありませ

せん。
時代の流行は抗しがたいもので、我が家でもどうするかを考えました。結論はペットボトルの水を買うのは環境負荷を与えるからやめようということにしました。しかし、息子夫婦などお客が来る時は、水道の水そのままでは抵抗がありそうなので、水道の水を浄化する方法を探しました。一番目は、プラスチックの容器に見えますが、水道水を入れておくと臭みがなくなるというものを購入しました。10 リットル入り 2 つと 2 リットル入り 2 つです。これでも夏は多少の臭みが残ります。そこでその容器に備長炭を 2,3 本入れました。これで水道水は完璧に無臭になりました。ミネラルウォーターと比較しても全く遜色ありません。私たちは、市販のペットボトルの水を信用していません。現在の日本のモラルからして、どんな操作をしているか分かったものではないからです。

大小の容器を並べてありますが、赤い布を目印にしてどの容器を使っているかを分かるようにします。夫婦二人で、1 週間で一回りです。コーヒーや紅茶をこれで入れますが、美味しく煎れられます。時々容器を洗い、備長炭を乾燥させる手間はかかりますが、ペットボトルを買う手間より楽です。

タイに住んでいるときは、飲料水を 20 リットル入りポリタンクで購入していました。近くに飲料水工場があり、地下水を利用していました。そこに飲料水を買に行ったこともありました。工程を見ましたので安心でした。メイドは雨季になると、屋根に降った雨水を素焼きの壺に貯めました。そのままでも飲料できます。美味しい水でした。心配なら煮沸すればよいです。天からのもらい水です。農薬が残留する危険のある地下水を浄化するより安全と言えます。昔のタイの村には、旅人のために家の前に飲料できる水を素焼きの壺に入れてサービスしたそうです。残念ながら日本ではほとんどの井戸水を飲料できなくなりました。

日本には浄化や脱臭をする備長炭というすばらしいものがあります。みなさんも備長炭で水道水を浄化してみませんか？

